

証券コード 8462



**Future Venture Capital**

# 株主通信

**第21期第2四半期**

2018年4月1日～2018年9月30日

## イノベーションとリスクマネー供給のための プラットフォーム会社の実現に向けて

代表取締役社長  
松本 直人



株主の皆さまには、平素より当事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第21期第2四半期の当社の取り巻く環境及び活動状況をご報告申し上げます。

当第2四半期の新規上場市場は、新規上場社数が49社となり、前年同期の29社と比べて1.7倍増加しました。ベンチャー投資環境では、CVCファンドによる未上場企業への投資が活発化しており、2018年上期(1月～6月)は前年同期比2.4倍の509億円に達し過去最高となりました。

このような環境の中で、当社におきましては、ファンドの管理報酬を主軸とする安定収入の獲得に向けて新規ファンドの設立に注力してまいりました。その結果、地方創生ファンドとして、関西アーバン銀行と共同でびわこ・みらい活性化ファンドを、京都信用金庫と共同でイノベーションCファンドを設立しました。(3頁参照)

また、更なる事業成長の為、グループ再編の一環として別会社化による業務遂行責任の明確化と事業機会の拡大を図ることを目的とし、東北地方を中心としたベンチャーキャピタル

会社を展開することとしました。それに伴い、当社の連結子会社であるFVCPの本店所在地を岩手県に移転し、社名をFVC Tohoku株式会社に変更しております。

これらの取り組みを進めてまいりましたが、いわゆるクラシカルなベンチャーキャピタル業務からイノベーションとリスクマネー供給のためのプラットフォーム会社へと事業モデルの変革に取り組んでおり、人員体制の強化等により経費が先行していることや、新規ファンドの設立が遅延していること等により、当第2四半期最終損益<sup>※</sup>は赤字着地となりました。(7-8頁参照)。

また当社は2018年9月11日に創立20年を迎えました。今日に至るまで支えていただいた株主の皆さまには、改めて感謝申し上げます。今後も、当社のミッションである「100年継続企業を創る」を達成するために、持続的な成長を目指してまいります。

引き続き、株主の皆さまには変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<sup>※</sup>親会社株主に帰属する当期純損益

## 新設ファンド

当第2四半期において、地域金融機関と連携した地方創生ファンドを2本設立いたしました。

### 地方創生ファンド びわこ・みらい活性化ファンド

関西アーバン銀行と共同で滋賀県内に本社や拠点を置き、滋賀県のブランド確立及び経済活性化に貢献する企業等を投資対象とするファンド。

正式名称	びわこ・みらい活性化投資事業有限責任組合 (通称: FUNAZUSHIファンド)
ファンド総額	100百万円
設立日	2018年6月29日
組員構成	有限責任組員: 関西アーバン銀行 無限責任組員: FVC
運用期間	10年(最長2年の延長可能)
投資対象	地域のブランド確立に貢献する新規事業 地域のインバウンド集客増加につながる観光事業 地域の「食」ブランドの向上を目指す事業 地域でのSDGsに基づく社会課題解決に寄与する事業 その他、地域経済活性化に貢献する事業

### 地方創生ファンド イノベーションCファンド

京都信用金庫と共同で、地域経済の活性化に資する未上場企業を投資対象とするファンド。

正式名称	イノベーションC投資事業有限責任組合 (通称: イノベーションCファンド)
ファンド総額	500百万円
設立日	2018年8月31日
組員構成	有限責任組員: 京都信用金庫 無限責任組員: FVC
運用期間	10年(最長2年の延長可能)
投資対象	京都信用金庫営業エリア内に本社や拠点を置き、独創的な技術、サービスやビジネスモデルで地域経済の活性化に資する事業を行う未上場企業

## 新規上場企業のご紹介

アザース株式会社(本社:愛媛)は、ラーメン店を全国展開する企業であり、9月にTOKYO PRO Market市場に上場しました。えひめベンチャーファンド2004(上場実績6社)の後継ファンドである、えひめベンチャーファンド2013からの上場企業となりました。



上場日	2018年9月19日
上場市場	TOKYO PRO Market
本社所在地	愛媛県松山市
事業概要	ラーメンを主力商品とする飲食店業
投資時点株価	174円※分割考慮後
上場初値	340円
上場初値投資倍率	1.9倍

## CVCファンドの成果

研磨剤メーカーの「株式会社フジミンコーポレーテッド」と、逆相用フラッシュカラムカートリッジを開発しているベンチャー企業「株式会社ディーピーエス」が高純度シリカモノリスパウダーを充填剤として用いた逆相用フラッシュカラムカートリッジなどの製造・販売に関して協業しました。

ディーピーエス社へはフジミンコーポレーテッドと組成した「フェニックスファンド」から投資を行っております。

## コワーキング事業

コワーキングスペース「FVC Mesh KYOTO」の機能強化の一環として、創業支援プログラム「FVC Founders Program」を開始しました。当プログラムは起業前・起業後概ね3年以内の成長志向の高い起業家を対象に、事業の成長を加速させることを目的として、FVCのインキュベーションマネージャー、投資担当者やマネジメントメンバー等が、セミナーと個別メンタリングを6ヶ月間実施するものです。



### 2018年9月11日をもって、 創立20年を迎えました。

フューチャーベンチャーキャピタルは、2018年9月11日をもって創立20年を迎えました。

フューチャーベンチャーキャピタルは「ベンチャー企業の経営者の夢の実現を応援する」を創業理念に掲げ、出資者の皆様とともに日本各地でベンチャー企業の支援を続けてまいりました。

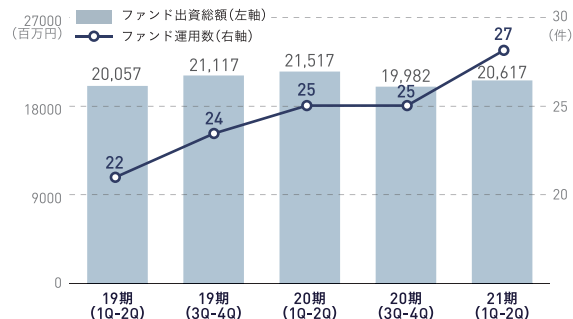
これからも当社のミッションである「100年継続企業を創る」を実現するために、リスクマネーを多方面に供給する仕組みづくりや、オープンイノベーションを促進する取り組みを進めてまいります。



## 第21期の取り組み

当期の最重要課題は、安定的な収益により固定的経費を賄うことで、経営の安定化を図ることと設定しました。なお、当社の安定収益の主軸となるものはファンドの管理報酬となっております。新たな安定収益を確保するために、新設ファンドの設立の促進を最重要施策と位置付け、既にノウハウ・実績のある「地方創生ファンド」及び「CVCファンド」の設立に注力しております。

### ファンド運用状況の推移



### 当社の収益バランス

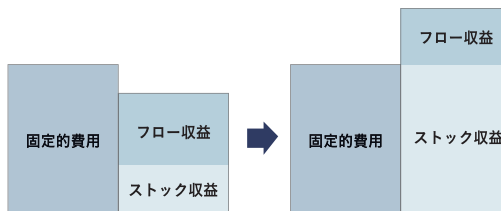
当社は固定的にかかる費用の全てをストック収益で賄うことで、経営の安定化を図るように進めております。

#### ストック収益

- ①管理報酬
- ②コンサルティングフィー
- ③コワーキング収入

#### フロー収益

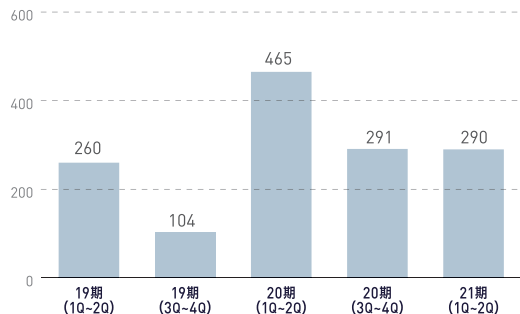
- ①営業投資有価証券売却益
- ②上場企業向けファンドの紹介手数料 など





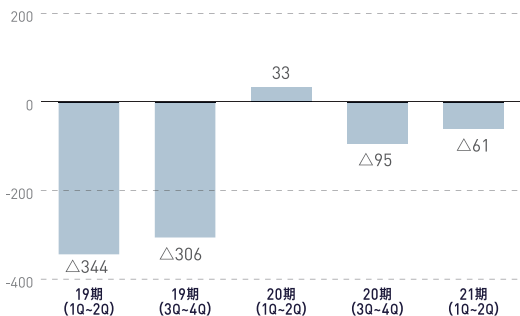
## 売上高

単位：百万円



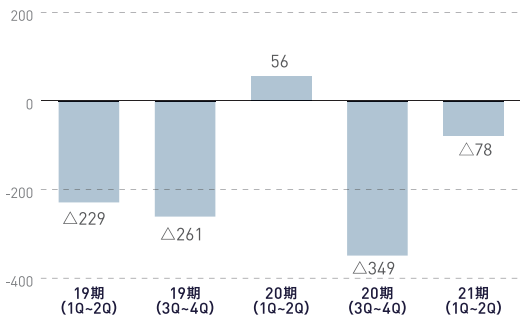
## 営業損益

単位：百万円



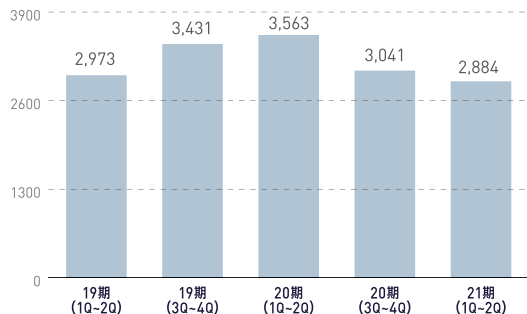
## 親会社株主に帰属する当期純損益

単位：百万円



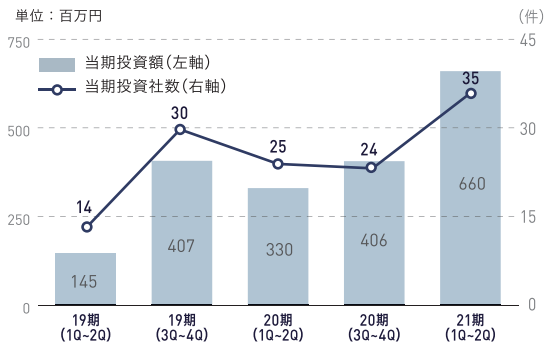
## 純資産

単位：百万円



## 投資活動

単位：百万円



プラットフォーム会社へと事業モデルの変革に取り組んでおり、人員体制の強化等により経費が先行していることや、新規ファンドの設立が遅延していること等により、当第2四半期の親会社株主に帰属する純損失は78百万円となりました。

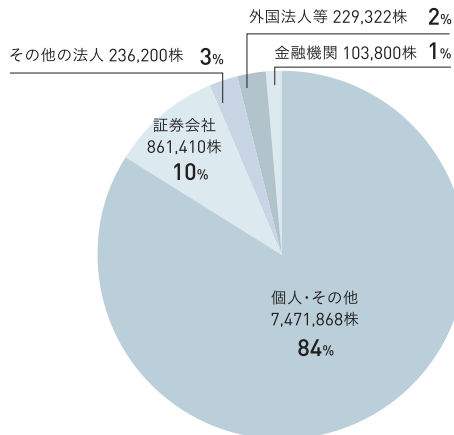
## ※本資料における記載数値について

当社では、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、第19期までは投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載してまいりましたが、投資事業組合の運営方針を見直し、平成28年12月31日付けで投資事業組合の大部分を連結の範囲から除外しております。一部を除いた投資事業組合において当社持分のみが連結されており、子会社の業績も反映していることから、第20期より連結財務数値を記載しております。

## 株式数および株主数

・会社が発行する株式の総数	18,000,000株
・発行済株式数	8,902,600株
・株主数	10,077人

## 所有者別株式分布表



## 大株主の状況

株主名	所有持株数	持株比率
株式会社SBI証券	276,900株	3.11%
松井証券株式会社	85,800株	0.96%
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED (常任代理人：パークレイズ証券株式会社)	80,000株	0.90%
日本証券金融株式会社	70,200株	0.79%
野村證券株式会社 (常任代理人：株式会社三井住友銀行)	61,642株	0.69%
GMOクリック証券株式会社	61,300株	0.69%
土師裕二	60,000株	0.67%
野村證券株式会社	58,200株	0.65%
株式会社ライブスター証券	57,000株	0.64%
細川雅史	53,500株	0.60%

(注) 持株比率は小数点以下第二位を四捨五入して表示しております。

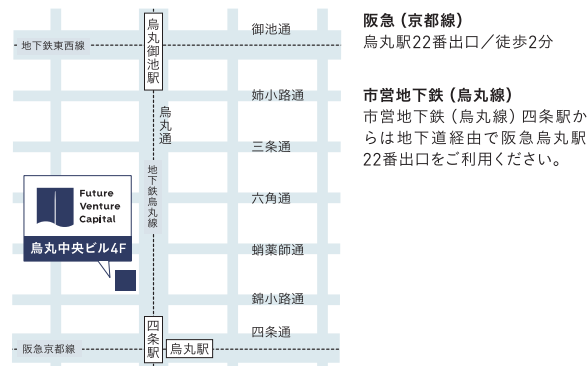
## 会社概要

社名	フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
設立	1998年9月11日
資本金	1,943百万円
従業員数	35名(連結)
本社	〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル 手洗水町659番地 烏丸中央ビル TEL.075-257-2511(管理部) TEL.075-257-6656(営業部門) FAX.075-211-1601
東京事務所	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目5番11号 八重洲中央ビル5階 TEL.03-6262-5367 FAX.03-5201-1107
岩手事務所	〒020-0022 岩手県盛岡市大通3丁目6番12号 開運橋センタービル3階 TEL.019-606-3558 FAX.019-606-3568
愛媛事務所	〒790-0012 愛媛県松山市湊町4丁目5-6 プログレッソ松山 TEL.089-915-3677 FAX.089-913-2750

## 役員

代表取締役社長	松本直人	取締役	守屋実
取締役	小川忠久	取締役	小尾一介
取締役監査等委員	木村純	取締役監査等委員	宮田秀典
取締役監査等委員	北條明宏	執行役員	富永真哉
執行役員	石井優		

## アクセス



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 株式会社アイ・アール ジャパン

同連絡先 〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部  
TEL.0120-975-960 (フリーダイヤル)

上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ市場

証券コード 8462

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.fvc.co.jp/>

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(株式会社アイ・アール ジャパン)ではお手続きできませんのでご注意ください。



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地 烏丸中央ビル

TEL.075-257-2511 FAX.075-211-1601

<https://www.fvc.co.jp/>